数日間滞在の後電昌まで船で 順で重製に向った、同地で順 順で重製に向った、同地で順

地に向ひ木月二十元日羽上海 地に向ひ木月二十元日羽上海 一使今回の海口、京殿行きは国 大田寺田の海口、京殿行きは国 大田寺田の海口、京殿行きは国

り香 ものとして重要戦され、上野政 西清後の同大使の行動になる。 で新情勢下における英國と は国 政権の関係が明瞭になる。

でなるもの でなるもの になるもの

注目さる

イートノスコンド 1000 「突滅関連」 米所獲得報によれば極東ソ聯の航空路は解氷期に入れ 水場の流水のため航空資益不可能の結果、四月一日より一所体航 より、ローカル銀は廿日より再航資施の豫定である、ソ聯級民航空 より、ローカル銀は廿日より再航資施の豫定である、ソ聯級民航空 の事態に離み太年度より極東支部低設空路を軍事的に承勤すると 大環張に乗出すこととなり配属機数も防じ等。 のため補東軍でまする。

にローカル線の

氏(牧衛梁)四日

姚道綠路不良

なり目下路機は

行場の泥準音

▲吉本龍夫氏(日本前子社員) 十日来京闽都ホテル ▲山根正吉氏(商)同 ▲山根正吉氏(商社員)九日 本京中平氏(同)同 ※京神中平氏(同)同 ※京神中平氏(同)同 ※新帝國太郎比(済鉄連製制)同

すぐ制げるのボッ聯の宣傳だ 単なる際に止らず確實とある

幹線は五月十日

不部では極東

情勢に對處する

■極東政策の動向

"一(日曜月)

五月早く活動開始

・ 北京東流により日支双方委員 ・ お譲渡官を別催し具體的活動に ・ 入ることゝなつた

おが軍に感謝状 と 「現家口九日後國通」 黄河南

李守信將軍

い丸で来速したが船中で語る 昭和十年四月満洲を離れて 本ること」なって、こちらに 東ること」なって、こちらに 東部保御事務に携って来た が、内地で見てあるのと遠 が、内地で見するるのと遠

利用では、「一個などのでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、「一個などでは、

の日人

既設空路も軍事的に改變

計畫



被 電行 話所 印編號 刷條行 人人人

國民參政會

の組織

次執監會議に依り決定

『香地九日園園通』 臨時金優 代表大會に引願き第五期中央 教育、監察确委員、第四次全 資資譜は法る四日議口に於て 開建され八日終了した、同會 開建され八日終了した、同會

たその要旨は 一、國民參政 守の委員職数は 百五十名とし中華民國國籍 百五十名とし中華民國國籍 受員の資格を有するものと 委員の資格を有するものと 委員選出方法は法に據 つて選定する、機能は抗嚴

対員及び各部長を左の知 民黨得構改革に基く中 では継載側新設を督子と

度を深めてあるやうである

ナチス及びヒツ

0

杷對的勝利は必至

獨墺合邦投票十日一齊に

た。 ならびに左記通告を翌して抗 機能性なが人人質返還完了 ならびに左記通告を翌して抗

人側との直接交渉を閉始せる

佐により顕森解決を強想せら 「北京九日競闘通」開瀬炭坑 「北京九日競闘通」開瀬炭坑

益々

御健勝の事ご御慶

ひ申上候

料亭鯉

川北支轉出

相成候折柄各位様には

陽春の候愈々凌ぎ良く

九日より

爭議解決坑

某有力者の語るところによれ

▲ 徽の各部長・ 和橋部長張風生、宣傳部長 衛弘儉。社會部長陳立夫、 海外部長陳友仁、秘書長朱

抗日決議

政府より公布することとなっつきたの如ぐ決定で近く國民協議し國民参政會の組織等に

で無機構改革後の 一、從来の人民国間を以て衝 議する 一、從来の人民国間を以て衝 機に 系統 各幹部顔觸れ

陸軍航空兵大佐 での如く競表された での知く競表された 武官更迭 米國大使館附 関別を記録係りとして護事を 現者出席、王文章を演長に本 表者出席、王文章を演長に本 表者出席、王文章を演長に本

公演

港橋の内地定便販賣は統制

豐 0

本来田友吉氏(同)同 本赤井澤文吉氏(高)同 本小教質派一郎氏(同)同 本小教質派一郎氏(同)同 本小教質派一郎氏(同)同 本小教質派一郎氏(同)同 「たった」。

事 往 來

ならず相剋ます (機烈ならず相剋ます (機烈

京

日本橋通三八長春庫裏 電(三)三八五〇番

來遊の程御待申上候 來店致し居り候に付何率一夕御 して最も簡易に安價にそして心 からなるサービス氣分を満喫願 へる様女軍に内地より粒揃多數

成立の事實正式通告 世界各國 臨 時維新兩政府近く連絡協議

「北京十日養園通」中國臨時政府は昨年十二月十四日成立を告げて以來着々政府組織の整備、治安回復に努力し名實共に更生支那の新政権たる實力を備い、一方また中南支における維新政府では近く各國政府は依然として蔣介石政権の逆宣傳等にて限を蔽はれ東亞の新事態に對し徒らに混迷、彷徨を續けてあるので臨時政府および維新政府では近く各國政府は依然として蔣介石政権を正式に通告することに決定し、今月下旬臨時政府に向って新政府成立の背實を正式に通告することに決定し、今月下旬臨時政府に向って新政府成立の背實を正式に通告することに決定し、今月下旬臨時政府に向って新政府成立の背實を正式に通告することに決定し、今月下旬臨時政府に向って新政府成立の背實を正式に通告することに決定し、今月下旬臨時政府に向って新政府成立の背實を正式に通告することに決定し、今月下旬臨時政府に入業に努めついあるが派遣されるのを機會に兩政府間に右に關する連絡協議をとげることとなった、右の通告は臨時政府單獨で行はれるか、兩政府の共同通告となるかは未定であるが蔣介石政権の崩壊近くにありと見られてゐる折柄その反響は極めて注目されてゐる

「北京九日漫園灣」中國臨時 設計整によつて統制的開發を し合流電視後は外交、內政、 向連かに合流する方針を決定 強機関の下に統合せしむる意 し合流電視後は外交、內政、 向である、すなはち臨時、維 地で、金融および頭貨政策等 新南政府の合流の後における に北安および中南支の經濟整 に北安および中南支の經濟整 に北安および中南支の經濟整 で送げるものと見られてるる に北安および中南支の經濟整 で送げるものと見られてるる に北安および中南支の經濟整 一、北一文 中南支における を送げるものと見られてるる 一、北京九日漫園灣 一、北京 を送げるものと見られてるる に北安および中南支の經濟整 一、北京大田東西東京 である、すなはち臨時、維 を送げるものと見られてるる 一、北京大田東京 で、これら を送げるものと見られてるる 一、北京 ので、これら を送げるものと見られてるる 一、北京 ので、これら を送げるものと見られてるる 一、北京 ので、これら を送げるものと見られてるる 一、北京 ので、これら を送げるものを見られてるる 一、北京 ので、これら ので、これら を送げるものと見られてるる で、たった。 で 統制的產業開發方針 港灣、海湾、湿信事業、金融等は頻政府の監督ルもとに拠替せしめ一定原則の社に統轄せしめ一定原則の社の電響産業統制法を制定性は軍要産業の相通摩擦を防る電響産業の相通摩擦を防る電響産業の相通摩擦を防る電響産業の相通摩擦を防る電響産業の相通摩擦を防る電響産業の相通摩擦を防むしてと 食糧不足愈

行政機構改革否决

谷公使北京着

南支を一貫せる

軍をして大樹灣を死守するの を しい打撃を受け撃退せられ資 が、 れるに重つたので最古軍練司 の会官李守信將軍は皇軍の恩情 に深く感謝を述べ六日小田部 ほに感謝がか帰呈した

一、質線引上げに對して坑人 に騙する開展表抗の約條に 基き輸山別に代表を出して 折衝す 、坑人側は五日以内に代表 を開展流列に代表

の相関と称を興金することの相関と称を関立に対しても出来得る限り相に対しても出来得る限り相に対しても出来得る限り相に対しても出来の他各種的工業 よ加重

歐洲各國の誤解

徳川老

公ロン

掃の

第十六回萬國赤十字大會出席

十日午前入時平入港のらすり 官その他多数の出迎へを受け 日本の他多数の出迎へを受け でする。 一日午前入時中入港のらすり

十一日あじあて來京

入月中旬勝朝の豫定である 正義日本の立場を顕明して 正義日本の立場を顕明して

大統領の

一般における否決をもつて現政院における否決をもつて現政院における否決をもつて現政院における否決をもつて現政院における否決をもつて現政

面目 丸潰れ

無要意見の交換を行つたよう 一型問題在王克被氏等胸時政 北支製祭のため九日午後六時

各要人等で會談

現地情勢を報告質災打合せる上海に歸任し更に東京に赴き なすこと」なった、又天津

時北京に着任した時北京に着任した

台言司政部長

お馴染の

立賜り度奉懇願候

候に付從前に倍し

御

九日より營業開始致

號を一樂と改稱し四月

に付ては其儘讓受け家

バンフビル 也 波に乗って大衆向をモットーこ **尚時勢に應じ舊弊を廢し時代の**

御研究の成果

原形その儘に攺修清朝の聖代を偲ぶ

学彦王殿下の

子

がら種々御研 がら種々御研

新兵器數種を御考案

新丘の理を を一層正確ならを を一層正確ならを を一層正確ならを を一層正確ならを

本天北陵大明樓の改修に就ては昨年中 東京北陵大明樓の改修に就ては昨年中 東京、彫刻、彩色等焼失筋の原形をその 東京、彫刻、彩色等焼失筋の原形をその 東京、彫刻、彩色等焼失筋の原形をその 東京、彫刻、彩色等焼失筋の原形をその 東京、彫刻、彩色等焼失筋の原形をその 東京、彫刻、彩色等焼失筋の原形をその

婦徳を發揮し

皇道宣布に邁進せと

武藤門経會長より感謝

水

82

3 也

舟 戀 U

公

國所

ĮĮ.

盗

犬稅

日譚



東亞民衆の福利増進 一國聯盟結成

に形合質を認定という。 関盟成立の模型護摩となった にから数形維持の完成を急 つた北支海政権にも社會事業 勝盟を結成するべ 一大社會事業 勝盟を記して (一大社會事業 勝盟を結成するべ 一大社會事業 勝盟を組織東京 に、一大社會事業 勝盟を記して (一大社會事業 勝盟を組織東京 に、一大社會事業 勝盟を組織東京 に、これの は、一大社会事業 を関する に、一大社会事業 を関する に、これの は、一大社会事業 を関する に、これの に、 認可を基礎に北支も参加 日滿社會事業聯盟 の正式

英靈五十七柱

哈市で執行さる

一道樂土を讃

立の上に輝かしき酸績を残し北浦の野に韓戦し蘇々にる武 十日午後三時より西本院寺別英鑑五十七柱の合同告別式は 在ほ英鑑五十七柱は十

吉田兵曹等遺骨

過ぎたるはなほ

何とやら

※總動員

自動的に射撃を開始し、こでも一寸スキッチを入れる を目がけて歩兵砲の射撃演習

終り十日午前十一時大連發吉 活動に感謝して食長の名で全編千刀自は満州各地の旅程を 解散に到るまでの官員一員の大日本民防婦人官々長武廉館 に進むを脱稿すると共に同會

ぬる、また疑い

を行ふといふ御考案で、これ

名の遺骨は十日旅順より大連二等兵曹吉田茂へ郎氏ほか二

のれるに至ったも

親しく教御老案の

大日本國防婦人會長である。 設立以來會員一致團結護國の大義を實踐模定布に邁進せられんことを 大日本國防婦人會長

論の余地があるが學校営局で 總動員の行事が加は大いに讓 関防編人會員更に選生と一家 にみるる協和官 は協和會員として母は國婦とかに参加するといふこととがに参加するといふこととがいることに違いはありませんが一つの行事に父りはありませんが一つの行事に父 ちょつこ。が、長

で一ケ年における鐵道戦車人 三七、九人〇 一人、七四〇八、七四〇 一、八六〇 北解四十八七〇

第二百六十 不均の旅費 が一個れる激増

国家国際の

健健健健 哈爾道まで」 切封々堂日廿月四

的な人々の多いことを実験し 言つて二、三首好もあるとこ

本へ・OO日曜特録ニュース (大阪) みき光外 ◆ラデキ風 最(競後の晩御飯)(東京) 晚 主なる放送

長旅がお好き 統計に現れた滿洲旅客氣質 を受して子と で考究して公 者で考究して公 者で考究して公 1.140 大八 本情にもよるところであらら 本情にもよるところであらら 本情にもよるところであらら となつてゐる。また一人一日 の平均旅行野敦は 融 線 八〇籽乃至九〇籽

有よ熟考せよ 婦人愛國歌募集

1111 *

本 青年學校入學式、午後七時 中、商樂講堂 す一十一世

Columbia 就を率3て満満一 行五十餘名大 タ近 目の 目の躍進が 公門演の 3

要犬家であるが本紙の記事。 事官室機文氏で氏は非常な この奇特なご仁は内務局参 られた愛犬の別れと言いれた愛犬の別れと係員までしんみ 変犬に劇的再

東京大會 聲のオリン

動務中の海城縣・

して緩奇心を唆

である。 での国答を得たが、更に東京 での国答を得たが、更に東京 での「ち十五ケ國十七放治國 での「ち十五ケ國十七放治國 での「ち十五ケ國十七放治國 での「ち十五ケ國十七放治國 での「ち十五ケ國十七放治國 札幌派遣方の問合せを競送L 國放送團體にアナウンサーの 国放送團體にアナウンサーの 漰洲國官吏が

明となつたので要領子さんへ ・ 大連市大和町三六浦帰國地籍 ・ 大連市大和町三六浦帰國地籍 ・ 大連市大和町三六浦帰國地籍 ・ 大連市大和町三六浦帰國地籍 ・ 大連市大和町三六浦帰國地籍

謎の失踪 時まで飲み、所は時まで飲み、所は 伙食店を出で一人で連鎖指カ二時頃まで剃か酩酊氣味で同 脚車を拾ひませ に を 済ませてか が も こ 十 関の を傾け午後十二日頃は知人二日頃は知人

明となったものである ・川に沿ふて、大連摩に行く ・野・山道路で姿を預したのが最 後でその後の足取りが全然不

設備を施すはずである をもつて編成、車内には一 をもつて編成、車内には一 をもつて編成、車内には一 をもって編成、車内には一

電話至急買たし(仲介者お願)

電話三、二〇二四番五十番まで

女子賽馬從事員募集

乂も吉林に

ピツク

憲正月休暇で 本外務局長官豪運升氏は就任 中外務局に初登騰して神吉崩 をご時着おじあで瞬京、同日 をご確儀を済まして十二日午 にが確儀を済まして十二日午 にが確保を済まして十二日午 にがなる。 十二日事務引繼 新舊外務局長官 白晝の怪火

御希望の方は本人御來談下さい

帝都キネマ事務所

ビスガー

ル募集

富

賽馬場假辨事處

局

「東京國通」 滿州國三河地方の自系露人訪日見學團一行二十六名は三河協和會小出事務 長に引率され九日午後九時入長に引率され九日午後九時入 る十四日離京する迄に市内見 を記述に下葉の農場を観察 である。 視祭團東京着 三河白系露人

不一公司支店指定被服工場

貸 1 ラ ッ 車 ク 運搬 電話(三)五六三〇 山 武 商 車庫館四二三九一番

五月六

家 H 庭 **次回後** 保險は大きくて確實を 10-10-01 保險 元營業所 都 の収扱は 新京青野町二丁二三 (四公園中港所館)

を

THE GALLER LONDO STYLE THE THE SALLERY THE

移轉御通知 E STAN

地方の出版 右は西公園前山崎曲

LONDON

は悪いことだその心情 別君は思は以愛犬との再會には俺にも解るといたく同情 再び劇的シーンを展開して夢して二頭に對する賦課金八 々として霽つたが、また畜犬して二頭に對する賦課金八 々として霽つたが、また畜犬して二頭に對する賦課金八 々として霽つたが、また畜犬を取りたりである。 別君を召喚犬を返却したが、 上海を深へ犬の助命を九日午 税の提供した一つの話値でも

前後の無調不等の一篇人を折 が年少女孫大田梁尉が競見皆 く本人の暴動を注測尾行を續 にない。 な関第百十四を殺見一番不審 な関第百十四を殺見一番不審 を開発日十四を殺見一番不審 を関第百十四を殺見一番不審

救ひ主現れ今鹽原

列車運轉法決定

とが田来の一般に手統立 AUIKKE EUITEBAUIKKE EUITEBAUIK!

お好ごと

取り働え陳列 い品ばかり T 4 0

もうこの邊が最後のチャンスでせう、 合店で 取り、働え陳列しました、是非一度見て頂きは皆様の御希望に應へる可く新品を豐富に 今春 FRILLERY GRILLERY

THE BULLERY THREE BRITERS SINKE BRITERS THREE

1

5

9

新京和樂舞踊協會の

第一回演奏會

(哈納之談)望月太八郎、 (哈納之談)望月太八郎、 (哈納之談)望月太八郎、 (哈納之談)望月太八郎、 (沙環域之談) 留月太八郎、 (沙環域之談) 留月太八郎、 (沙環域之談) 四月小小初、田 (沙野本田) 里和小初、田 (沙野本田) 里和 之前) 望月太**八郎、** 影間勘多郎 田山上、治井



à

100

00000000

000

8

8

000

8

優豪華版 哈市紳商が招 ・ 赤玉の小百合という。 赤玉の小百合という深川 / シタ

il

指

新京白菊町五/四

琴古流尺八會員募集

名樂

た 無料は又今後の危险性を多く含んである自葉を望む▼此、何でも北支にブラリと関店した銀ブラは一ヶ月もたムずしてブラリと関店した銀アラリと関店した。何でも北支に行くんだった。 一後氏の出来ないらちに離れるなんて凡を意味ないらちに離れるなんて凡を意味ないらちに離れるなんで凡を意味ないわしま 知る彼女人をそらさぬ垢技なづかれた、さずが人の世

社員クラブに於て開催するが 派合詞のもとに誕生したが、 派合詞のもとに選生したが、 派合詞のもとに選生したが、 が京和樂舞禰協督は昨年宋各

と受が占と発が占と発が占





は、漢田家小米、同朝千代以 「大田の家新三郎、砂川愛三 に今回 再度の渡鴻ヶ前回に比 一行、河内家新三郎、砂川愛三 して張晴しい躍海振っで國都 に会回 再度の渡鴻ヶ前回に比 一行、河内家新三郎、砂川愛三 に今回 再度の渡鴻ヶ前回に比 一行、河内家新三郎、砂川愛三 に会回 再度の渡鴻ヶ前回に比 一行、河内家新三郎、砂川愛三 に、河内家新三郎、砂川愛三 に、河内家新三郎、砂川愛三 ・として迎へられるであらう が、春爛漫の絶折のプレゼン が、春爛漫の絶折のプレゼン に、河内家新三郎、砂川愛三 ・として迎へられるであらう に、河内家新三郎、砂川愛三 ・として迎へられるであらう に、海内家新三郎、砂川愛三 ・として迎へられるであらう に、海内家新三郎、砂川愛三 ・として迎へられるであらう 六日

より二日間公會堂で

職にありと言ふ意氣なんだー。 のである、深川の興酸この一 のである、深川の興酸この一

漫

0

來る

及はツア 水刀 印に 限る 電空四六四 新立中中華胡 (片双五 枚 入) 同 新京日本橋通 電 3言五四五號 新滿商会

南広場。ス東洋にこのえ、さいしたと言ふ二人の新人がデビューしました、二人は姉妹でから君が十八歳、生符の大変の最の産であるマ「潅珠場、 要素店を經營してみましたけ

開

學一卷五廿篇後前 R



ナソの

パのガラマサどん

朝

0

座

过 四 四 回

建上版

谷

李

須

青

春

0

宿

『観介液は、妹があなたの思 『ほんさうに、あなたのお郷」かつて大いに力のあるとさに て、選子は、酸く押しつけ たへた。 いった。

ンナ年でも作っさいつてある のに、お前は懐が一ケ月、懐 のに、お前は懐が一ケ月、懐 て手紙をよこすのは、他

(3)

心中につぶやくのであ

=

1

川へス銀ちやん

度の意見を同感して聞いてる ないこと 実って 職子は、この鉄大の力の預 たがその紀掛なら機が、婚島 たがその紀掛なら機が、婚島 たがその紀掛なら機が、婚島 たですよの総当は、機のいふ こさには反野ル来ないんです ますの 更い公、お前は健康だ

2025 500 7045 年

生、頭外ですごす狭心でをりが結婚を承知しなければ、一 『それは、あなたの、木心で れないのです 電話

(日 贶-月)



120)(

×

2.51 5.42

12-52 3-1: 6-95

『本當に、すつかり落ついていたやらですねーー』 『諏治我もすつかり心が落つ 関も部門に暮んである」

こざいますわ

っからさいっても、ごうしても願ってゐらっしやるまで得 ても僕は罪人だからつて……

大 遇短期名请週間

空中

劇場

無は、深外に軽いていまからの程の重傷であったが、大 らの程の重傷であったが、大 らの程の重傷であったが、大 かう空をかけたのは公平だった出てめた囃子の帆へ来て、に出てめた囃子の帆へ来て、 銀平が、この船に乗ってる 選送されてあたのである。 以下の人々に選られ、日本へ るのは罐子からの電報で迎 来たものであつた。 理解のに逃院し志摩那事 二七八) なたは、要治乳を変してあらったは、要治乳を変してあるったは、ごうお思ひですから ?--僕は新聞記者ですから ので おお しますが、あな たは、要治乳を変してあらったは、要治乳を変してあるったは、要治乳を変してある。 ではいけない。終来に、独のではいけない。終来に、独のではいけない。終来に、独のではいけない。終来に、独のではいけない。終本に、独のではいけない。終本に、海のではいいが、といいのでは、一般は思ひますが なったから安心してはのさば なったから安心してはのさば たは、顕治乳を受 こてもかたくなので聞るので

母も背取ってもらへるこさになり、 鐘 -郎 母飛十 ス 子送いの間により 12.10 2.45 仇討彦山權現 1.15 3.50 6.25 森の逃げ水

階下六十

関いなき進前 日 座 一天の後・地の後・地の後 ・地の後・地の後 新京キネマ行物の発生を対象を 豊ワック 微微 劇ー 告

北

7

13011

te17 Se37

限りなき前進

ス 12000 5050 8050 3.05 6.10 10.30 階下三十錢

7057 月 1.07 1.22 金 東京要塞 1-26 4-41 7656 七 2000 8005 9.20 + 9•45 10•48 12.00 3.15 6.3

7016

1.31 4.30 7.30 2 京十木マ 男の償 前 篇 10.40 1.40 4.50 7.50 3.10 6.10 後篇 12.00 七日りよ十日まで 階下 四十錢

國際運輸機就

新

尿支店

倉庫及金

給融

委火災

託 賣 買

工

九日より十四日まて

映画御架内 豐樂馴場

も昔も 有 尼な西覺寺の 疝氣五

價 高 疑福 株式電 商品券 新京祝町 0 精分神 三丁目 二六四四五 與銀橫)

******** ************** 第一支店 修理は最も迅速叮嚀に 豊富に取揃へてあります 洋 唄 樂 新京曙町二丁目卅 = 天津日本租界籌街 征 路 器 味: 各 線 **國口口**

緣 醫 院 水 . F

クター

話 務 串 3代 玉多

S_H M 勞卜運倉金保 事役 室室 膏 沒 猪り搬庫機会 九八七六五四三一〇九八七六五四三二一二

他 0 事 石石圏ト手荷日小税 貨 到 到 酸 床 炭炭 ラ ノ荷編 物 現 用 55軍メル 田駒内 一場

五二三五三二五六二四六四二一二三五二六 九一七八三一一八五一〇六一四六〇八六八 三三五八一九九八一八四三九八六五八六七 〇八一九五一七〇〇一二五六五五九八二九



誤郷の水にも中らない。 でいるでは、変れな快適さい。 では、変れな快適さい。 仁丹は 旅に仁丹こそ 必携の懐中楽!

57

赤ちゃんを は乳そのまと



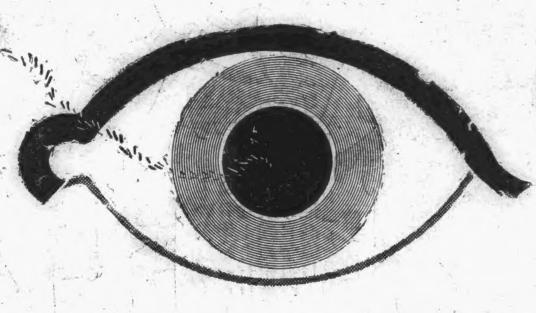
ルででは、 が快を去り病菌を殺し 一般を去り病菌を殺し がに眼脂を がに眼脂を がに眼脂を

これらの よ刺あ 等戦が がかる

薬科眼新な快明



にうやく引を片鐵が石磁 は目効なかや爽のル ノすでのるせさ減軽を痛苦の病眼



(白服や黒根に星が) 充血(俗に言) 膜炎(馬が洗値し、慢・)

• 錢五十四 • 錢五十二 •

線中間地區を掃幕中の笠井北京十日韓國通1京漢、津北京十日韓國通1京漢、津

墨石東方的五十十四光源

續々潰滅

敗残部隊

関政府は新ヴィンソン案の通過を俟つて態よ大建設に乗出 当を俟つて態よ大建設に乗出 作職部長は右に闘勢し九日U P記者園に對し次の知く言明 した

生トラー

なつた。

を迎へて今や最高潮に達した

へ憲兵科を除く)に六ケ月間 主として氣象職測に必要なる。 準備を研究せしめること、な つた、右に欄し陸軍省では十

陸軍氣象部設立

部長言明

維納

和入り

カードリンの興奮はヒトラー總統 ・ 一本・ンカ日強調通 全國 ・ 一本・シカロ強調がでカキーン ・ 一部に関系を置けてるたと下 ・ 一部に関系を置けてるたと下 ・ 一部に対象でウキーン ・ 一部に対象でウキーン

成 (東京國通) 陸軍では新たに | 陸軍気線部を設置すること | 陸軍気線部令を公布するが飼時 | 軍気線部令を公布するが飼時 | 軍気線部令を公布するが同時 | 軍気線部令を公布するが同時 | ではる単生の教育に関する件を

百の支那兵を

一名で死守

小銃の射撃をあびせ、宮崎軍 で雨と降り注ぐ酸弾をさけつ て雨と降り注ぐ酸弾をさけつ た、その崎敵の一部は背後に た、その崎敵の一部は背後に た、その崎敵の一部は背後に た、その崎敵の一部は背後に がっよったのでこれを認めた

中南支の中南支の

したが、廿一名の家兵をもつてよく八百の大軍にあたりこれを敗走せしめ、約十一時間にわたつて鐵路を死守し撃い使命を果し得た喜びに会員に力をとり合つでうれし並きに泣き傷ける宮崎軍曹は横道電話にかずりつき
「漫巌楽賞せるも南部港浦・漫巌楽賞せるも南部港浦・漫巌楽賞せるも南部港浦・漫巌・大田ので

要際の行うもるださな情報等のでは、 を動物がしたでは、 ののでは、 ののでは、

一之公使は、知力観察の

北文産賞無旧選生 パンスの罷業擴大 パンスの罷業擴大

しい 砂ななもの であるよう であるよう

建河北岸の敵驅逐

使重度者 によればカー英國大便は九日 漢口簽派行機で午後二時十五 次国慶漸、関民政府及び四川 が電慶漸、関民政府及び四川 が電慶漸、関民政府及び四川

本期作戰目的達成

政治は日本内地居住支那人保一を開設したが右に闘し十日正【北京十日發國通】中國臨時一識のため十日より東京辦事處

左の如く破表

立し魔ちに事務や開始せりを派駐したが慶長孫提氏の を派駐したが慶長孫提氏の を派駐したが慶長孫提氏の

しめた、敵の遺棄死體 時間の後これを殆んど 時間の後これを殆んど

容の上無事職選 容の上無事職選

遠したり でしたり でしたり

業後塵

東京辨事處開設(暗時政)

三名で、外交官に埋ずる特遇をなすことになつてゐる、なほこれと交換的に瀟瀰園政府としても中國臨時政府より駐浦道商代表部設置の要得をの他に関し便宜を供興されたき旨とのほど臨時政府に強者して來た、同代表部の組織は代表(商務書事官)一名,商務秘書官二名、主國駐瀏瀟洲帝國通商代表部を北京に設置、天津、濱南年それが、阿通商代表部出襲所を假くことに決定、岩開設に當り所要の土地、家屋の北京十日段國題一滿獨密國政府は滿華兩國間の貿易關係促進調整ならびに緊密なる經濟關係の樹立强化をはかるため、たるべく建かに中華

にも出張所設置

部

荒鷲隊、

壯烈極む大活躍

【頁二十刊夕朝紙本】 料廣定本 金告價紙 特普第一

四五

| 大使は

四中全會決定

【香浦十日藤國通』四中会會は九日午後三時より漢目において機関、吳歌恒、邊繼以下委員卅餘名出席し李濟深、陳然稱、方摄武、陳頒脩、劉震等、譚平山等七名の紫籍復聞を決定した

0

七時(満洲時間)見遠へるほとれてゐた福寧、惡杭而鹵織を北てゐた福寧、惡杭而鹵織

轉開始

を語った。 を記って。 を語った。 を記って。 を記って、 をこって、 をこって、

赤血球の境大宮

料けてあるが、この組閣工作を り九日現在飛行轉製造工場を をむ州四工場で總数六萬の等 のには工場を占據し赤旗を 側者が能梁を行つてある。中 のには工場を占據し赤旗を掲げ であるものすらあり意々内閣 であるものとして今後の成行を 発注目されてある。

縣本山炭

不明で目下消火及び救援中山口縣即來郡小野田村本山炭 機第二抗より出火、折柄入坑 機第二抗より出火、折柄入坑

血が濃り

なるど身

體が弱る

上空の空中戦

山四機を撃墜 (豪藤曹)

ける歸京

動物 大の損害を保破しい。 一本の損害を保破しい。 一本の損害を保破しい。 一本の損害を保険しい。 一本の損害を保険といる。 一本の損害を保険しい。 一本の損害をしい。 一本のしい。 一をのしい。 一をのしい。 一をのしい。 一をのしい。 一をのしい。

建建造

衆し乙種學生は各兵科下士官 で憲兵科を除く) に一ケ 年間 の兵用氣象に関する學術を研 の兵用氣象に関する學術を研

人 事 往 來

本片関博敏氏(官吏) 十日衆
京風郷ホテル

・ 原田文一郎氏(衆議院調員)

「神論叢ホテル

・ 本木合利治氏(輪洲畜産社員)

記する人の役にせ

相御な剣

二 縣 下足 數 日 縣 縣 東 上 日 縣 康 名 助 け 縣 縣 经 衛

チャー

聖坂県の

月度不服

振出薬だからキク
であります。ペーマネンドでもなさらう
であります。ペーマネンドでもなさらう
といふモダンな安野は、とかく、むやみとの深楽から機能した歌奏館のやうな
整訳だと、たいへんキクやらに教べてる
を記がし、古式そのをまの解析してなくではいけません。中郷漫に配価されてるる。
東記だと、たっへんキクやらに教べてる
を記がが、すつかり合けるのであります

を書いてある事である、如何で表現会を集の構子嬰に比較することは第一に風憶をも同歌を表しば、一種を表現会を集の構子嬰に比較することは第一に風憶をも同歌を表しば、一個に変を要ってある。

「ほどを疑ってある。」
「は整備に新父の献である。」
「はなで、作出一輩の如き、が出一輩がかられて、一般であるである。」
「はなど、「ない」のが主観である。」
「はなど、「ない」のが主観である。」
「はなど、「ない」のが主観である。」
「はない」のが主観である。」
「はない」のが主観である。」
「ない」のが主観である。
「は、一般の情報を表してある。」
「ない」のが主観である。
「ない」のがまれている。
「ない」のであらう。
「ない」のである。
「ない」のできない。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているいい。
「ないいるい。
「ないいるい。」
「ないいるい。」
「ない、これているい。
「ないい。」
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ないい。」
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ないい。」
「ないい。
「ないい、これているいい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているい。
「ない、これているいい。
「ないい、こ

文の雌逸にして一句の標準なければ白石其人をも生かしたのはこの一篇の論文である。 地下の白石も喜びこそすれ怒 りはせぬ、私は此の見地より 根所の山陽に對する攻撃を許 いて直とかす一類だと許して ある。

行 風の動を着くし腰々京都に上 市島を被の踏金板山間は山 市島治郎吉翁の話が骨子であ たものであるが具材料は父君 が と想像される、治郎吉翁は が と想像される、治郎吉翁は がで近つた傑物である、受潮

通いて天

能なくかが、

鄭孝胥先生。片鱗

り倒鴨涯とは特に深交があった、この際蒐集した物に獲が た。この際蒐集した物に獲が た。この際蒐集した物に獲が た。この際蒐集した物に獲が

では、文章の一臓相強するの話に於 て私は讀者諸優に向て種々の があり終いぶに在る、この がありといぶに在る、この がありましたがある。

たら通鑑物は

第山集北方で

本を工場財働の管轄登録官 の場合に終て不動産登録法施行供第六 係又は第下條第二項の規定 に低り未だ登録簿に移載せ に低り未だ登録簿に移載せ にはり未だ登録簿に移載せ が不動産登録法施行供第六 第二章の登記 が不動産を登録簿に移載せ

八日總通長中島成子女史の温い訓戒を受け、初めて奇し動向を誓つてこの程北京婦女宮撫班の温床に抱かれたが

【北京九日發國通】青春の乙女盛りを邪道の抗 **閣憶に踏み入れ、曾つては五百人の頭目とし**

下級員に副

哈鐵産業課の試

活安定目標に

宣撫班の温床

輔向を誓つて

報國同盟

長は轉向の動機につき 中國人が中國を受するのある者は質の運動に参加しながら金のある者は質の運動に参加しなが、また一省一直要を関連動はその方法を測しなが、また一省一面でも は しかしなが また しゅう は しかしなが また しゅう は しゅう しゅう は しゅん は しゅん は しゅん は しゅん は しゅん は しゅん 方法でやつた、同女にその才 能を認められて廿一歳で癸酉 光復社々長(抗日秘密結社) となり政治系統三百人、別湯 駿二百人を部下として教図台 しめたものである、若い女酬 しめたものである、若い女酬

と述げた、同譲は北京宣撫班 を表づたのであることを今までの 大語のたが、記者が「貴額日に向 大語のたが、記者が「貴額日に向 大語のたが、記者が「貴額日に向 たいと思つてるます。 たいと思つてるます。 たいと思つてるます。 をすがに 変などの方はありませんが 他の分配、分園では親日を 神民の階数や飛行場の媳却 神民の階数や飛行場の媳却 神民の財政したが、記者が「貴額の が、記者が「貴額日に向 をなどの方はありませんが 他の分配、分園では親日支 を表づたのも抗日数園園の に終ったのも抗日数園園の に終ったのも抗日数園園のの に終ったのも抗日が、記者が「貴額の に終ったのも抗日がに変した。 と述げた、同譲は北京宣撫班 職字班で活動する管である 電子班で活動する管である

傷兵保護院官制に新例

名譽官に本庄

で 傷幣校一、准士官以下九 三門、迫擊砲、機關銃各三十 正門、迫擊砲、機關銃各三十 五、政 小統二百、自動小統二十五、政 小統二百、自動小統二十五、 吉林寰宙國民學校の校舎は光 を表示して、 を登場しいので市公県では舊 古林監獄西分監師の難物を修 世本る校舎を母楽することに なつた、なほ豫第は六萬順程 ででには完成を見る管

の窓を工場財團の総定の管轄登記院は下場所のでは、第五十七條の下間をの管轄登記院は下場所の係の管轄登記院は下場所の係のでは、第五十七條の下場のでは、第五十七條の下場のでは、第五十七條の下場のでは、第五十七條の下

シャルデイン政 治部長等投獄

を (東京園通) 偏矢保護院官制 直ちに總裁以下を本月宋迄に 二次されることになつたが、政 總裁は名譽官となつたゝめ政 小流には現行官動に新例や開き た結果、目下の呼び腔では陸 あるを写信(親任官)を置き間總 軍大將本庄繁男が最も有力で 傷器を事任とすることに決し、 ある おき 制案の復府可決を待つて

【石家莊九日登園通】 屋登部 防の一部は六日古陽(安澤北 方十六キョ)附近に於て追擊 砲敷門を有する約二平の敵を 攻撃し南方に敗走せしめた、 被の遺棄死體六百に及びわが 損害は僅少である

北京九日發國通」百貨店ので、これ家和日發國通」百貨店ののほど當局の諒解を得たので、こに家師盟出版選上本百貨店、商業和合が各関係。那名の下にそれ、こに家師盟出版選出の正と常局の意解を得たので、こに家師盟出版選出の正とが、こに家師盟出版選出の正とが、こに家師盟出版選出の正とが、こに家師となる。

を要すすることを要すすることを要すす。 を要すすが、すないでは、 の手織をは、 を要すすが、 の手織をは、 の手織をは、 をの手織をは、 をの手機を基準を要することを要する。 をの手機を基準として、 をの表することを要する。 をのまる。 をの。 をのまる。 をのる。 をの。 をのる。 をのる。 をのる。 をのる。 をのる。 をのる。 をのる。 をのる。 をのる。 をのる。

連命鑑定 瀬柳先生

運の良い人

古陽附近で二千 の敵を撃破

の運勢をハッキリ 人人

所 高島易斷所 選せずすぐ來れ

新京中央通 20一川田田山

肺肋膜炎中風高血壓

豫防治

適應專門科目

に志し南朝を正統として親臣 十九歳にして日本外史の田稿 十九歳にして日本外史の田稿 の通鑑網目を管理の単属を立 する、山陽の文は其力量を何する、山陽の文は其力量を何 たが、山陰は其気 夏の日永の京級の下に 風の東接第三册を發見 風の東接第三册を發見

時間 午後十時まで

景樂劇場南横(メトロ隣)

往診は午後二時より

田マツサージ科

院

②四四八〇番

ニカ大大大

獨特自慢

0

自製靴

夕







で立てること、なつた、しかし立てること、なった、しかして右百貨店は一軒に限られ、 の地の何れの百貨店が選出するかは百貨店組合において決定されることになつてあるが 健楽この種企業の北支進出は 全然見られなかつたところで ともにその成果は注目されて

石療、看護の 市區に開設され の保健、衛 た

5 勝ち の多の生活

起る原因が有る、 は今更ながら の不自 然な生活、 戦慄 次々に醫學の進 参 そこに病氣の 覺えます

が生れる、然 診療所の醫療施設

が生れる、然も患者の数、名も知れぬ病氣が日に月に増加の数字をれぬ病氣が日に月に増加の数字を語が治療所は三千年の古い歴史と 関道を持つ皇漢鍼灸醫術に最新學 では有るまいか 理を應用して「人類の持つ伸び標 でする力」一般では有るまいか では有るまいか では有るまいか では有るまいか では有るまいか でする力」の関係に最新學 でする力」の関係に最新學 でする様に理學的、溫熱的電氣的刺 競を加へ健康へ導く理想的の自然 療法です、効果的の根本療法です。 療法です、効果的の根本療法です。 を持つて居ります、萬一斯樣の病を持つて居ります、萬一斯樣の病を得れる全快の喜びを得た多々經驗を作用も著積作用も有りません次次。 切望しまり る者なれば一日も早く健のプレー す の方は是非一度御試験の

徒

(才要錢二条編則學) 學入初月每 四通



バッ 咲き出た名曲 亦草三郎詩・明末京郷曲 と花の様に ★撃撃の歌 D 舞音 藤久

寢 小乳氣 神胃

便虫炎管痛病

慢其神不不 胸盲性 經 服 姙 服 服 搬 般 凝 症 症 氣 炎

經腸

力

リエス

1

マチス

(健康灸、

豫防灸)

小兒腺

痲病

ズイ

(E)

部奏務機関の警務司への合體を消費祭機構の一元化は受政 廢後第 けふから三日間治安部で 新方針を指示協議 廳長會議 H 與安南省醫務科長當麻害文部 與安市省醫務廳長若林邦 與安市省醫務廳長若科邦 與安市省醫務廳長若林邦 與安市省醫務廳長若林邦 與安市省醫務廳長若林邦 與安市省醫務廳長若林邦 與安市省醫務鄉長曾根忠一

落着き満洲の春には名物のと 端れぬ有様であつたが午後六 時頃より一寸緩み六米以下に 時頃より一寸緩み六米以下に

今秋十月中旬には開館の 独定 百坪、建坪五百坪、三階建二 千名を收容の大劃場で内部端

一時頃特別市二道河子林和ハスに衝突・十日午前

殿の上映かり

的としてある

與安階院に於て手蓋を加へた禁員檢證したが設は前頭部に

の別風の夜に入ると共に次節

- 五間に及ぶ中央舞盛の

諸通行中折柄進行

指無虚風大學は

建國大學開學式

修瓷團体操會

消刷を中

1 ス映 御突した、急報に所轄大郷路側場で 戯(二一)の運動するバスに分に老 して来た空面資祉運轉手李宋

急報に所轄大郷路

開學式及び入學式を舉行する し午後一時から南嶺の同校で し年を

京大軍勝

應召兵は

月憲法競布五十年に際して漢 解釋に基くものである 東京國道」司法省では春三 心に副ひ率る所以であること 上所謂前犯の汚名を除

中 犯罪が悪質のものでないかぎ の題召兵に對しては特にその 取事が悪質のものでないかぎ り特別復權の恩惠に浴せしむ なげらつて君國のため率公の 修養関新定支部では市民の健 をもつて四月十日日曜日から は、園園訓練ー関力増進の目的 をもつて四月十日日曜日から 上、接着の学問に亘つて學行されるこ ととなつてゐるが、銑後の守 ととなつてゐるが、銑後の守 ととなつてゐるが、銑後の守 ととなつてゐるが、銑後の守 ととなってゐるが、銑後の守 ととなってゐるが、銑後の守 ととなってゐるが、銑後の守 ととなってゐるが、銑後の守 ととなってゐるが、銑後の守 ととなってゐるが、銑後の守 ととなってゐるが、銑後の守

日本ラグビー界に離名を確かた大浦州帝國證育聯盟並に確た大浦州帝國證育聯盟並に確

の節、極軍主將の挨拶、ペト 場され體育勝盟理事長の歡迎 主將に依つて日滿兩國族が掲

能念品を明星し意義深い交願

同記念撮

新京名物酒場の原本

感書本人持念のこと
が書称に經驗の有る三十字以下の方を望り自欲費

石急募ナ委綱は而談の上

關東軍酒保指定被服工場 新京新设路二〇一

熊 不二公司支店

歌 話 (4)一四七八番

工場部員(裁断リ智)三名募集す

、女子事務員 二名採用

到滿洲國ラグビー戦

建設認可 大陸劇場

十月ごろ開館かねて率天青薬町六常等映書が新宮廃主領ロ氏から率天警館新宮廃主領ロ氏から率天警館を通じて許可申請中の市内住吉町一番地「大陸融場」対設については八日附をもつて認可されたので新宮殿では工費四十五萬圓で直ちに漕工

步行者は人

八道

陽氣といもに溢れる人出に

無路等から選手をピックアップした織洲属チームとの交聴 競技會や開催した、内地より 意のラック職法で提際チームとの交聴 であり而も得 を記ばれる京大のことへて人

下し協會理事長より京大軍に会式を行ひ兩軍主將機族を降

札幌大會と別に

水原君送別野球

聯合軍勝つ

競技聯盟では九日全國競技理 權大會申請 世界氷上選手

ケート聯盟及び國際アイスホ選手権大會日本開催を國際ス 會とは別に一九四○年度世界事會を開催協議の結果札幌大 聯盟人び國際アイスホ

貸 室

フランスアバート フランスアバート 御用の方は 電話 製師 (3) 五二四八番へ (3) 五二四八番へ 披

入船町

御



雷福县(2)

0四

電 • 話

迅速低利金融。 金

名義變更セズ 電話ノ御がへ電話店 ス

及び出席各庭長は左の通りで をの諸問題を中心に成果が期に移っては、 をの諸問題を中心に成果が期に移っては、 をの諸問題を中心に成果が期に移っては、 をの諸問題を中心に成果が期に移っては、 をの諸問題を中心に成果が期に移っては、 をの諸問題を中心に成果が期になる。 をの諸問題を中心に成果が期になる。 をの諸問題を中心に成果が期になる。 をの諸問題を中心に成果が期になる。 をの諸問題を中心に成果が期になる。 をの語言による。 をの語言による。 をの語言による。 をの語言による。 をの語言による。 をの語言による。 をの言言による。 をの言言による。 をの言言による。 をの方針での。 をの方針で、 をの方が、 をの方針で、 をの方針で、 をの方が、 をのうで、 をのうで、 をのうで、 をのうで、 をのうで、 をのうで、 をのうで、 をのうで、 をのうで、 をのるので、 をのる。 をのるので、 をので、 をので、

は日増しに漫歩の人数に溢れての歩みと共にペープメント

件つて惹起するであらう交通係ではこれ等交通量の激州に

なにはなるが半歳に亘る豊居 中活から彼かれた関都人には 大地は又オアシスであり服を 大地は又オアシスであり服を 対のた水のやうに今日この頃 いの歩みと共にペープメント

は 大道への はから近く管下一齊に歩行 は 者を中心とする交流訓練を實 す ~ との 標札を立て左側通行 (底に努めること > なり目下鋭 意計畫立案中であるが、 實施 は 本月下旬の豫定である

、指示事項、質疑顧客、最高檢察應失長致調、人務局長官致調。

(日曜月)

市五年度豫算 今月中に認可發表

本の夢が固い外数を破つてふき出した、愈よ本物の春だ、十日の日曜日は春を樂しむ人中日の日曜日は春を樂しむ人中に散策に唯これ等の人々を悩ましたものは年前九時頃から吹き出した張風である、平の場点、九米、最高十二・三米にも達し正に黄展萬丈のと

聯合軍 羅洲 2福 田1水 5小 幡9高

近く交通訓練實施 日登越した客新京織道北尾上日登越した客新京織道北尾上 が新京に來た形跡が でよつて首都優察園 山資春(IIII) 砂卷く强風 の春風 きのふ名のみ 姿を晦した

濱田後接會長を迎 チームの空氣 張切る傳統新京俱

全端野球界最古の際史を誇る ・長春俱樂部、その当末社論別にベースボールなどない大正 田俊作陶氏等の熱心で裏生し ・長春俱樂部は四年五年・隆 りをあげた大道、率大、撫順 りをあげた大道、率大、撫順 備し昭和二年の満洲野球大台には胚倒的成績で優勝昭和八には胚倒的成績で優勝昭和八年には州外野球大台に優勝した。 でつて維名を騰ばれたオールを行って推名を騰ばれたオールルで、安東で大捷、流流 新球界のため 原文の氣を吐い 業、兼二清、安東で大機、減 家娘を三手。

十四、二十五朝日西公園十四、二十五朝日西公園

催全糖京大會をトップに球場で開催される本社主

て失つたとは云へ各チー衆、電々共に多少の花形

初京俱樂部、潙洲図、電

陸陣容をのぞいで見やら も、以下各チー→の本年 日指して練習を織けてゐ 信加し早くも本年の副を

极 数

砂 の 総 天け 温 の しょ 領の 最高 一九度八 数高 一九度八 最低等下

(小部門

場際聞くは何時ぞ(寫真は平山をみず)、氏すでに戀へ信

電話3元四九八番 から 子豆

即すであらら「窓中の活氣は費制以 個でで佐岩打水流輸輸水多子で 一で佐岩打水流輸輸水多子で 一で佐岩打水流輸輸水多子で 一で佐名井に二大の 一で大小な 一で佐名井に二大の 一の大小な 一の大いな 一の大い 一の大い 一の大い 一の 一の大い 一の いた。 にはあまる にはあまる を同俱樂部 かん是非先 かん是非先 ではあつたが昔かりに見すぼらしいりに見すばらしい

がの大切な後見であれてはい 大型の名をはづかし 大型の名をはづかし 大型の名をはづかし 大型の名をはづかし 大型の名をはづかし 大型の名をはづかし で張り切つた氣持の機利たる臨

2 0 7 万 4 5 8 内。 3 1 4 小 0 0 1 永 3 0 9 三 15 10 6 近 を見えなんだ、「鵬追ふ狩人 を伴つてゐたせゐか初戀を知 つたようた身なりにはチット でなるなんだ、「鵬追ふ狩人

」と語った平島浦鐡支社長、 如何なる女性が彼をして初級 か識らしめたかせ後日に譲る として▼最近では辞儀に襲っ て暇をみては鐡砲を撤いで出 掛けてゐる、腕前は未だ小昼 校の一年生だが氣分は中學生 の初極のように動くなつてゐ るといふ▼この人武部、林出 かって総州に来 のを知つたよ

玆に移移御通知旁々御願申上候は新式方法に依り椅子席に改め萬遺漏無き樣致候間何卒倍舊の御後援賜り度し家屋の狭隘を感じ候爲め今回左記新築家屋に移轉從前通り營業致居り就而弊俱樂部説町にて營業中は一方ならず御引立に預り御蔭樣にて逐年繁榮を來 古野町二丁目廿六(銀座新道片岡家具店隊

部

話③五一 七番

宿下級高 婦人病、 謄写印刷は 新京 京樂生堂HS線新 皮膚病、 其他淋毒性諸疾患 **若膿症、** 西 (阿本馬等西崎人) 若腹症、結核病 (的確根/仏教法を選ば) 京療院

奉天満俱

撫順に敗る

局部館

斯京八島小學校前期宿泊怨切待過

知

を改造一段と新鮮味を加へて御目見得致します就きましてはその間本十一日より十三日まで三日間休業させて頂きます竣成の上は何卒一層の御引立の程をお願ひ致します。 カフーマ イ ま 町 二 丁 目 富 士 町 二 丁 目 二 六

電話③五六六九番

宮岡と

三友社

★## 世常樂房

電話を 三五二〇番

・三大七七人以来)

和 第四年 101年

TO O 四七三四番

●数三十二八七三巻(大和ボテル模)

机装 住吉 務也

タイピスト 発振 育別タイプ 綜合教授 育別タイプ 総合教授 育別タイプライター 新浦南新 日端タイピスト 趣能 電の回回五二二章

(異平街パス停間所前) (異平街パス停間所前)

新京 大和巡り 第13・六大四六変

日本福通り

新京県智路一〇八 電2·四八六九番

日本梅通の新京ビル

BR · 三七五六番

人、〇〇ピアノ 編奏 (京都) シューマン作品 (イ) アレグロ (イ) 七 七、三〇國民歌鶴 (東京) 雅告 (初京) ス・告知事項・

熱あんま

にかっさ

改致します

火通り

末松接骨院

GENOTITIES

科療X児 內科病性外 新京辦ケ桜町三八十

大和運輸公司大和運輸公司機会重要土木材料一般

トラツクに供る

特効薬安心散等がある。

ロシャ菓子

松下煖房所

衡

養護

院 長 河野五百里

電3・三一七一番

藤院

清水堂鍼灸院 京都 ① 六七二七番

内科·小児科·籃科

完整 衛馬三○四 衛馬三○四

内小

• 柳原科

七、〇〇ニュース (東京) 佐 藤 贈 齋 佐 藤 贈 齋

修理專門

ます。海電話大第巻上郷和談に歴じ ーライト塗 金崎塗装店

電の大王の九

隨時 電8·五七九五番 人能 每日通二十一番地

(表) 類字通郷便局/北 類字通郷便局/北

整骨

中である。 ◇射線病 本助 膜 炎 ◇神 病 本のインテス ◇神 病 本の リニ 炎 ・ 便

本院 斯京 蘇光 路 第3·二] C六青

電8 • 三八三九 新文辞社府横

大院龍窓・化巻照標] 頻京神祉ノスが削 ムニョイ ムニョイ 長春醫院 長徳丸ス

> 皮、性病科 X 各科 () 体系科 X 各科 () 体系科 X 各科 電2·一六〇五番

小兒科專門 **農**一

電8·五二四三 花柳 病 對 策 落

サントゲン設備 早

三井耳鼻科 新京電 4 會社 區學博士 三 井 體②四八八五番

八島近 電3三四一二番

Y線料、物源科 物源科 物源科 學族院

チ

総稿・代書 新清油

貸兜勉强 極。營量

康德院

昌農

主人田原和

人。

満洲

一手取扱

本欄

使

深町院

女 歸 田島即子

電2・二六〇七雷

電②・一三二〇番

柳人粉

古斯斯 阿四丁 目 世

超五

新京吉野川一丁日

みどり茶園

院長 醫學士 上山源大

83

井

醫

児科

レントゲン科新設

小兒科專門

電の四七七〇

大安曹

お茶と

版**海專門**

内科 小兒科

順天農

医院

決巴薩

完 院 管

*1人ドノル

微外科

唐桐 科科

般外

肺線線

月前、 青機協

春物 大見切 **益 豊 質 店** 書院

知器

見內科科

81 01 19 18

聚 器 科

随入意院

佐野幽科醫院

哥

K

科

新京省出町二丁目 第8・二六〇大番

新京特別市百瀧省五七(民生部裏)

到女性钢料

ロンドゲン科 胃臟病科

产院

容疑

八神 東の大山大田

病常完備

古光堂寮院

是非人

野

能溶成

成时三一日七(妖座村道)

科 (新羅) (新羅) (新羅) (日本赤十字紅數條所) 電8。三九〇二番 出院

外科·性钢科 皮膚·泌尿料 (入院機時・日光賞政所)

內科 小兒科

津農 **慶崎(3)五六八九番** 新京・窓町二ノ一三 新京・窓町二ノ一三

產婦人 外科性病

見 科 院長 肥後以子

松 排 動 子

館町 電話3●三二九六季 二丁目七 科 在科科科 專門 系置医

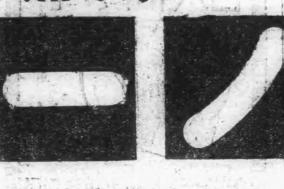
影院

世樂路公設市場入口 電 2 • 三二九七番

醫題博士 吉田 秀雄 殿話代表②五九一一

にれ疲とみ痛の頭





・頭が痛いから、頭が疲れたから、位で、着い顔して大切なな時ではありません。 三人分位は一人で、引き受けるないでグッイーこ、仕事の能率を上げる為に、いつもポケットを 然るべしです。



マーゆ



TIME

◆ 製造機質元 荒川長太郎合名會社

【粉末と錠側】 二十銭 。五十銭 際品都にあり

效

□ 国際・船車の酢 のぼせ・めまひ のほせ・めまひ

ハッキリさせる獨特の薬効があります。 いっというには、頭痛や頭重を速かに解れる 物理、家事装縫等で波れ切つた。 では、一般にある。 では、一般になった。 では、一般になった。 では、一般になった。 では、 ののでは、 ののでは